

Lektion 4

文法のポイント

●haben の現在人称変化

sein と haben は英語の be と have 同様に、ドイツ語の世界の両横綱といったところで、sein の場合と同様に、haben も英語の have と全く同じと考えてかまいません。

●不定冠詞

先週勉強した der、das、die の定冠詞は英語の the にあたりましたが、不定冠詞の ein、eine は英語の a、an に該当します。

定冠詞と不定冠詞の使い分けは、中学校で習った程度の英語の the と a の違いと覚えておけばそれで十分です。もうちょっと詳しい話は、火曜日の問題発見の時間でやります。

●否定冠詞の kein

英語で言えば「no ～」ですが、これはドイツ語特有の表現形態ですので、授業でしっかりと理解してください。Ich habe einen Stift.のように、不定冠詞がついた名詞はすべて kein で否定します (Ich habe keinen Stift.)。

英語でも、money、water などには普通 a はつきませんね。ひとつ、ふたつと数えられないからです。こうした名詞も kein で否定します (Ich habe Geld./Ich habe kein Geld.)。

数えられる名詞を「数量名詞」、数えられないものを「物質名詞」といいますが、その見分け方はごく簡単です。半分にしても価値が下がらないのが物質名詞です。たとえば、本やペンを友達と共同でひとつだけ買って、切り分けて等分してもそれぞれに二分の一の価値はありませんね。これが数量名詞です。ところが液体や石鹸などですと、半分にしたら、その価値は半分になるだけです。お金だって、千円札を半分に切って使うことはできませんが、切った二枚を銀行に持って行けば新札と交換してくれます。真中で折れた鉛筆を文房具店に持参しても、新品と取り替えてはくれないでしょう。

表現のポイント

●身の回りの品とそれをめぐる表現

先週は町や大学の施設などの単語を勉強しましたが、今週は皆さんの身の回りにある名詞をまとめて勉強します。